

1. 発生日時:平成26年1月20日(月) AM10:18頃
2. 発生場所:名神 kp393付近 下り線(今須TN東坑口 左路肩)
3. 施工業者: ██████████
4. 工事概要:トンネル坑口手前の既設防護柵強化工事において、Gr支柱打ち込みのため削岩機でコンクリートシールを取り壊し中通信ケーブルを損傷させた。  
「当該個所は、土工部からTN監査路へ埋設物が集中配管されていることが推察できることから、TN坑口直近の支柱は、増打しないことで決定していた。」
5. 時系列
  - 10:07 コンクリートシール取壊し開始
  - 10:18 事故発生
  - 10:30 メンテ事業所第一報
  - 10:35 ████████ 保全センターへ第一報
  - 10:40 施設制御室のエラー表示消灯 (照明設備 「地落」表示)
  - 11:12 速度規制○50異常感知、VICIS異常感知
  - 11:21 トラカン異常感知
  - 14:30 仮復旧完了 (██████ 対応)
6. 原因
  - ① 施工図の確認不足:標準でTN坑口から1m間隔で支柱を打設するという先入観があった。
  - ② 施工個所の確認不足:支柱の打ち込み個所について、複数の目で確認をせずに作業を行った。

## ■工事計画

トンネル坑口手前の既設防護柵の強化(支柱増打及び巻袖レールから平袖レールへの改良)を行う工事である。

当該現場は、既設の状況が標準4mの支柱間隔であるところが3mの支柱間隔+約1mの片持ち状態である。土工部からTN監査路へ埋設物が集中配管されていることが推察できることから、

**TN坑口直近の支柱は、増打しない計画とした。(割付け図作成者: ■■■)**

現場の注意喚起として、既設Grレールに支柱打設不可の表示を行っている。

## ■埋設ケーブル関係

試掘日 平成25年9月30日

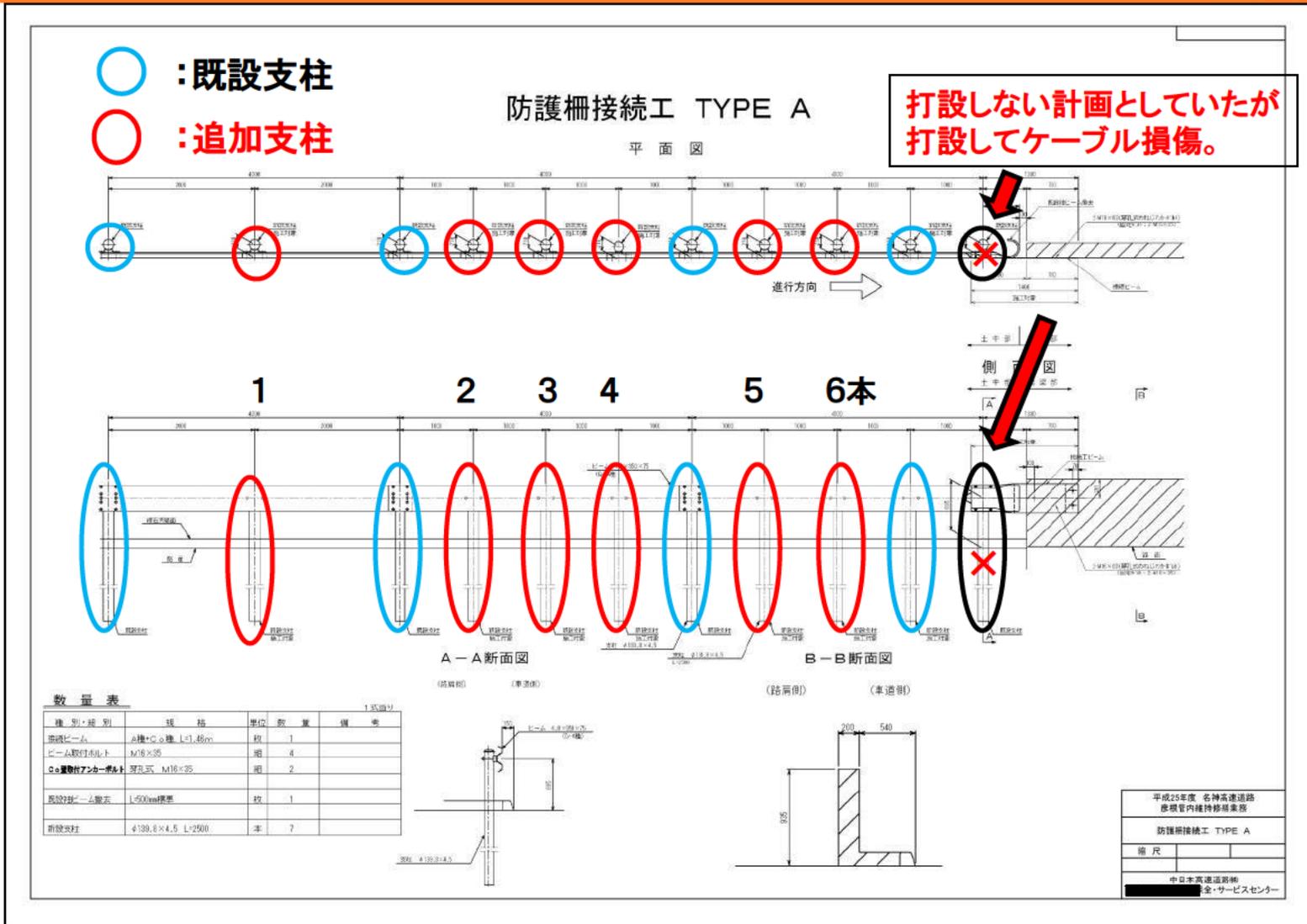
試掘確認日 平成25年10月22日(■■■■・メンテ)

## ※光通信ケーブル等損傷事故防止協議状況

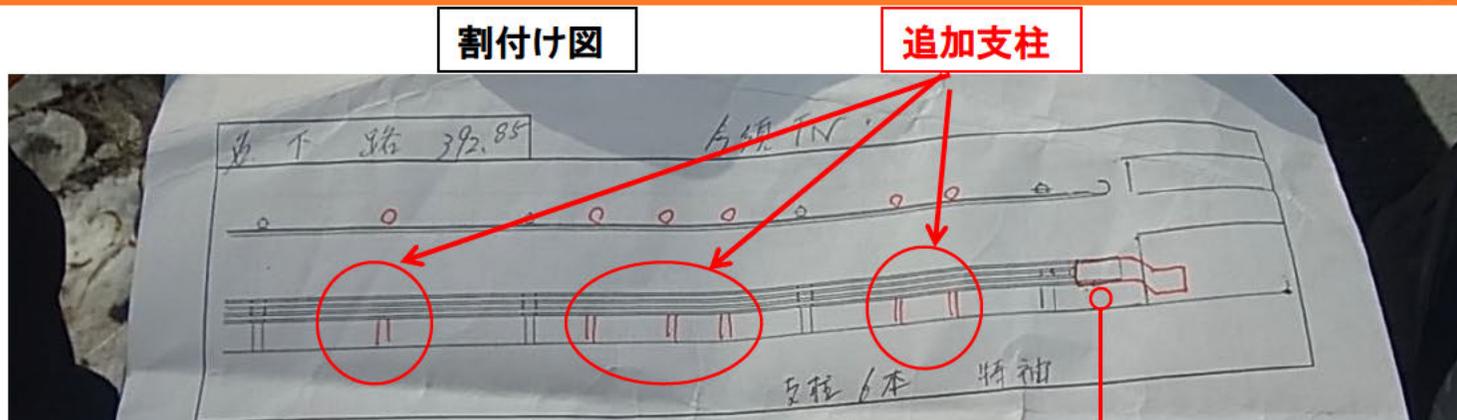
平成25年7月11日→1/5

平成25年8月21日→2/5, 3/5 (3/5は試掘計画)

# 名神高速道路 Gr擦り付け工事 ケーブル損傷事故(3)



# 名神高速道路 Gr擦り付け工事 ケーブル損傷事故(4)



損傷箇所(割付け図明記無し)  
※支柱打設箇所ではない

損傷箇所

## ■緊急安全会議

1月20日 17:00~18:10

参加者(■名) ■■保全センター メンテ名古屋 ■■■■■■

### 【会議内容】

#### ①事故概要説明

#### ②事故原因洗い出し(原因究明)

- ・作業当日の3者詳細打合せ(メンテ・■■■■■)が不足していた。
- ・割り付けの確認(図面確認・施工箇所)が不足していた。
- ・埋設物(条数)確認が不足していた。

#### ③今後の対応

- ・埋設物等施工に留意すべき事項を施工割り付け図に記載し、メンテ・■■■■■が情報を共有する。
- ・現場施工チェックリストを作成し、作業箇所毎にチェックを実施する
- ・3者(メンテ・■■■■■)詳細打合せ必ず実施してから作業着手する
  
- ・1月21日■■■保全センターが再発防止実施状況を確認後再開予定。

